

職場体験

今週は、2年生の「職場体験」がありました。5日間のうちの3日間、それぞれの事業所で貴重な体験をすることができました。職場体験とは、生徒が実際の職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。高校生でも、同じような活動をすることがあります。高校では、インターンシップと言っています。

皆さんは、中学校を卒業し、いずれ社会に出るようになります。仕事に就いて、働くということです。職業には、3つの要素があります。まずは、生活していくためです。収入を得て、自分や家族が生活していけるようにすることです。次が、社会の一員として、働くことを通じて社会に貢献（こうけん）するためです。世の中のためになることです。人の役に立つことです。もう一つが、職業を通して、個性や能力を発揮（はっき）し、自分の目標や理想を実現するためです。

どんな職業でも、一つの要素だけということはないと思います。2つ以上の要素が入っているのではないのでしょうか。その仕事によって、それぞれの要素の割合は変わってきます。例えば、プロのスポーツ選手で考えてみましょう。個性や能力の要素が一番高いのではないのでしょうか。その選手は、活躍することによって、社会にも貢献しています。また、収入がなければ生活していくことはできません。看護師さんはどうでしょう。人の役に立つという要素が、一番高いと思われれます。個性や能力の要素も必要です。もちろん、収入の要素も欠かすことはできません。

2年生のみなさんは、今回、職場体験でお世話になった事業所の仕事について、3つの要素から考えてみてください。どの要素が高い職業ですか。1年生と3年生の皆さんも、今考えている将来の目標について、3つの要素から考えてみてください。一番高い要素は何ですか。

学校の先生はどうでしょう。収入は公務員ですから、安定はしていますが、特別多くなることはありません。世の中のために、人のためになっているのでしょうか。皆さんのような、これからの社会を担（にな）っていく人を育てているのですから、社会に貢献できているでしょう。教えるのが好き、子どもが好きなどの個性や能力も関係しています。3つの要素のバランスがいい職業と言えるかもしれません。

どんな職業にも共通していることがあります。それは、社会への貢献です。働くというのは、人の役に立つということです。みんなで働くことによって、社会は成り立っています。人のためになる、人から求められる。それが働くことの喜びとなります。

以前、高校に勤務していたときに、インターンシップを終えた高校生の顔つきが変わったことを覚えています。2年生の皆さんの来週からの生活が、とても楽しみです。